

いわき民報
社址 平田町四丁目八番地
電話 三三八一
発行所 平田町四丁目八番地

榮譽の被表彰者決る

中央表彰は全部採炭夫連中
本年度上期(四月一九月)に優秀な成績をあげた炭職と
従業員を近く表彰することになったが、本報では次の
諸炭職と諸氏がこの榮譽をになうことに推薦された、
中央表彰を受ける十一名はいづれも採炭夫である

地方表彰(仙台商工局中根正雄(警署)ほか六名、松谷源治
(好間)ほか三名、若月甚蔵(勿來)ほか一名、松本峰松、(小
田)ほか一名、大津今朝吉(矢野)佐藤文(上山田)新田吉吉(
赤井)緑川克己(福島)杉本竹治(小野田)大場外子太(三松)小
林清一(三和)阿部寅一(上好間)
◎炭職 A級古河河野間、B級隅田川、C級齋藤ほか五職

本年最高記録

然し赤字の十月出炭
崇つた水害に輸送難
常磐炭田十月の出炭は録で昨年の同期に較べ
暫定目標二十八萬五千とそれよりも六萬六千
五百トンに對し二十四萬四千一トンの増減とな
る

農委登記
事務講習
あす小名濱校で
平商女子商會
合同講習會
平商
業と市立女子商業合同
秋季体育大會は九日午
前八時半から平商グラ
ウンドで開く

男が多い湯本町
世帯数は四、八八九戸
湯本町消火湯本町
防委員會
湯本町
湯本町
湯本町

設計請負
平土地住宅
社長 正木昌次
電話 二〇五番

市賞かけた
労働文化祭
新築、移轉
鈴木「務店
市役
警報部
警報部

四十二商社で競飾
本社主催競飾大会締切終る
競飾大会は来る十日
から十六日まで開催さ
れるが平和的商店街繁
榮として各方面から
非難な人気を呼び参加
商社は既報の三十四店
の外五日の申込み締切
まで更に左記八店の参
加が決定した

一時資金要求
本人千圓家族五百圓
市役所職組
野球場
野球場
野球場

茶の研究
鈴木若主氏が
實生活に即し
市内に華道の指南研究
所を設け、茶道の研究
所は多いが茶道の研究
は活潑でないのが今聞
かれます

登記制改善
海産物小賣組合申
鮮魚店の登録が来た
海産物小賣組合四十六
店を代表して登記制改
正の具申書を提出した

今曉の獲物
依然絶えない
ヤミ買出部隊
平署では今曉又も二〇
二列車と二〇八列車を
急襲、無所物六六件の
新精米六二二キロ、大
豆(二件)一三、五キロ、
豆(一件)一三、五キロ
の買出しと宮城方面
から京濱への買出しに
行くものと相半して
いる最高所有者は二八
キロ(米)で一斗以上の
者一五件、悪質送検は
無かつた

平商バンド
宿願の放送
ヒバリ楽團も
平商バンドとして、郷
土音楽の代表として平
商放送所青田三郎所長
の指揮により九日午後
四時から各十五分間ずつ
ツケ一片山さん大衆へ
の返事は?

引揚連盟の
新役員決定
海外引揚者警報連盟の
新役員は去る一日の総
会に決定した

女子事務員
急募
本社いわき民報社
電話 一七六、三八二番

地区食協同組合發足
理事 蓮沼龍輔
常務理事 佐藤子之吉
青田目源一郎
大谷傳長
井戸川安信
小島一信
森川英一
福山永助
小織治全
佐藤新五郎
佐藤信雄
高橋喜一
(内郷町)
(江名町)
(平田町)
事務所 平田町五十一番地
電話 六七九番

事務所移轉お知らせ
建築工事一般の無料御相談に
應じます御利用下さい
平田町二丁目二五
株式会社鈴木工務店
社長 鈴木芳義
電話 四六〇

外科新設
擔任醫 小野彌久
小児科 若松醫院
外科 平田町二丁目二五番地
電話 五〇五

骨董 貴金屬 高買入れ
和洋服 高買入れ
平田町平田西隣 中央會館
(電話 九一五)

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平田町一丁目四九
谷口醫院
平田町一丁目四九

